

新たな住生活基本計画のポイント

少子高齢化・人口減少社会を正面から受け止めた、新たな住宅政策の方向性を提示

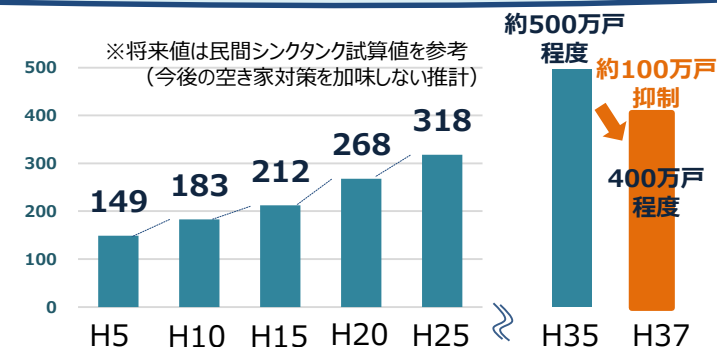
若年・子育て世帯や高齢者が安心して暮らすことができる住生活の実現

- ・「**若年・子育て世帯**」と「**高齢者**」の住生活に関する目標を初めて設定。
- ・ひとり親・多子世帯等の子育て世帯や高齢者等を対象に民間賃貸住宅を活用した住宅セーフティネット機能の強化策を検討。



既存住宅の流通と空き家の利活用を促進し、住宅ストック活用型市場への転換を加速

- ・マンションの建替え等の件数として、昭和50年からの累計を**約500件**とする成果指標を設定。（過去の4倍のペースとなる数値）
- ・「**空き家**」に関する目標を初めて設定。「その他空き家」数を**400万戸程度に抑制**。
（新たな施策を講じない場合と比べて約100万戸抑制する数値）



住生活を支え、強い経済を実現する担い手としての住生活産業を活性化

- ・「**産業**」に関する目標を初めて設定。住宅ストックビジネスを活性化し、既存住宅流通・リフォームの市場規模を倍増し、**20兆円市場**にすることを目指す。



若年・子育て世帯や高齢者が安心して暮らすことができる住生活の実現

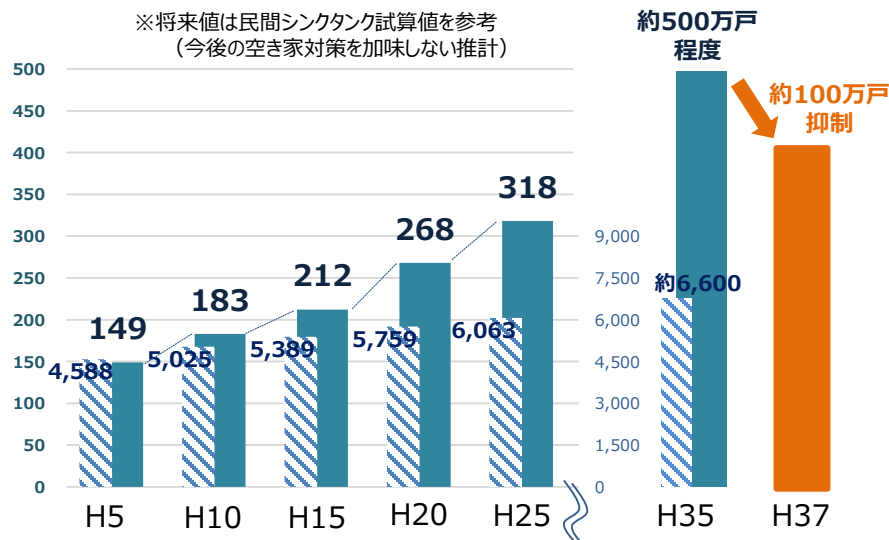
- **三世代同居・近居**等を促進し、子供を産み育てたいという思いを実現できる環境を整備。
- 空き家を含めた**民間賃貸住宅を活用して住宅セーフティネット機能を強化**。
- 高齢者の身体機能や認知機能に応じ、ソフトサービスとも連携した、**新たな高齢者向け住宅のガイドライン**を策定。



既存住宅の流通と空き家の利活用を促進し、住宅ストック活用型市場への転換を加速

- 既存住宅の質の向上と併せ、**住みたい・買いたいと思う魅力の向上**を図る。
- 既存住宅が流通し、**資産として次の世代に承継されていく新たな流れを創出**。
- 老朽化・空き家化が進むマンションの建替え・改修等を促進。**(マンションの建替え等の件数 (S50年からの累計) を 約500件に -約2万戸の建替え等-)**
- **空き家の増加を約100万戸抑制**。既存住宅の流通促進等により空き家の増加を抑制。

空き家の抑制



プレミアム中古住宅 (仮称)

土地 / 000.00 m² (00.0坪)
建物 / 000.00 m² (00.0坪)

- ・良質で魅力的なものにする、資産として価値のある住宅にする
- ・消費者に効果的に訴求できるPR方法にする
- ・住宅瑕疵保険等を活用して品質を確保する

内外装
リフォーム済

インスペクション済

5年瑕疵担保
保険加入済

住生活を支え、強い経済を実現する担い手としての住生活産業を活性化

- 木造住宅の供給促進や生産体制整備（担い手の確保・育成、技術開発）
- 住宅ストックビジネスの活性化（既存住宅流通・リフォーム市場を20兆円市場に）
- IoT住宅などの住生活関連ビジネスの新市場を創出

木造住宅の供給・担い手



和の住まい



技術開発



CLTを利用した建築物の実大振動台実験

IoT住宅（イメージ）



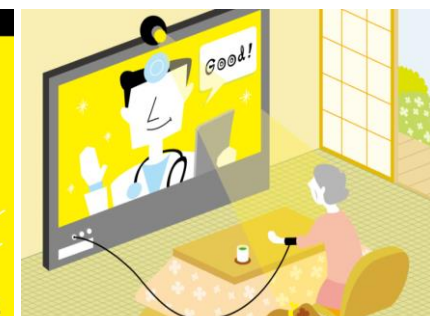
リモート節電



見守り



節電システム



遠隔健康相談